

# 決算審査特別委員会報告



平成24年（平成23年度決算）

## 決算審査特別委員会報告

一般会計及び特別会計の歳出合計

485億5885万7167円について  
審査を行いました。

平成24年決算審査特別委員会は、12名の委員により構成され、去る10月22、23、24及び26日の4日間にわたり開催され、一般会計の決算では歳入364億7350万3713円、歳出331億6665万7229円、歳入歳出差引額から翌年度に繰り出すべき財源を控除した実質収支額17億3078万6000円の黒字決算となった内容や、国民健康保険特別会計を初めとする各特別会計を含めた歳入合計527億6519万4190円、歳出合計485億5885万7167円の決算内容について慎重な審査を行いました。

最終日の26日に総括質疑が行われましたので、概要についてご報告します。

**問** 白河駅前自転車等駐輪場管理事業の管理運営形態において、現在の委託契約から非常勤職員を配置した市直営の管理運営にすることについて

**答** 駐輪場の管理業務は朝6時から夜10時20分までの16時間20分であるため、非常勤職員を配置した場合、1日に最低2人の人員確保が必要で、その年間の人件費が、現在の委託料を上回ることになる。今後も委託内容等を含め、経費削減に努めてまいりたい。

**問** 駅前駐輪場の利用台数の減少理由と無料化について

**答** 減少の理由としては、少子化や自家用車による通学の送迎及び自家用車通勤者の増加等が考えられる。また、管理運営については、平成23年度決算で、約125万円の収入に対し、管理委託が約385万円の支出であり、支出が収入を上回っている状況にあるので、今後、委託先、委託方法等について検討したい。

**問** 国民健康保険の医療費の増加要因及びその対策について

**答** 増加要因は、被保険者に占める高齢者の割合の増加や医療技術の高度化、さらには高血圧疾患や糖尿病をはじめとする生活習慣病の増加が挙げられる。生活習慣病の予防対策として、内臓脂肪型肥満に着目し、発病や重症化の予防及び生活習慣の改善を図る目的で、平成20年度から特定健康診査・特定保健指導を実

施している。また、この健診の受診率の向上及び生活習慣の改善を図るため、訪問活動や健康相談、広報活動に取り組んでいる。

このほか、これら答弁を受けて、委員から「明確な目標を設定し、市民総ぐるみで健康な白河をつくり、医療費を下げていくような明確な形で運動を進めていただきたい。」との要望がありました。



**問** 平成23年4月から中学生までの子ども医療費無料化を実施しなかったことについて

**答** 平成22年7月に小学6年生まで助成年齢を引き上げて導入間もないことや、拡大した分の医療費の実績データが6カ月分と少なく、新たな年齢拡大の導入には年間を通した医療費の動向や推移の見極めが必要ことから平成23年度の中学生医療費助成制度の拡大を見送った。

**問** 歳計剰余金について財政調整基金への積み立て等を行い、必要な事業に予算が回されていないのではないか。

**答** 財政調整基金については、震災等により平成22年度では約3億6000万円、平成23年度には約9億9000万円を取り崩したこと、適正な基金の残高を確保するため、平成23年度は14億円を積み立てて補てんした。災害等、不測の財政需要に備えるため、中長期的な視点に立った財政の健全化から今後も進めていきたい。

※歳計剰余金・・・一会計年度における歳入額から歳出額を差し引いた残額のこと。

反対、賛成それぞれの立場からの討論があり、起立による採決を行った結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決しました。